

教科	科目	単位数	学年	コース	区分	使用教科書
工業	デザイン材料	2	3・4	デザイン セラミック	選択	デザイン材料 文部科学省

1. 学習の到達目標

デザイン材料では、多様化しているデザインの表現活動を基に、様々な材料に触れながら材料の特徴、加工する技術を学び、テーマに即した作品をつくります。自分のつくりたいテーマのものを、何の材料でつくるかという材料の選択は、作品の良し悪しに大きく反映されます。より良いデザインをつくるためにも、材料に触れるという体験を通して、誰もが使いやすく、美しい作品を考えていくことを目標とします。

2. 学習の評価

評価の観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の規準	あらゆる生活の中において材料が果たすべき役割について学び、そのデザインの必要性について理解する。 材料を生かした作品を作るために材料に関する基礎的な技能・技術を身につけ、計画性のある処理能力と表現能力を身につける。	材料に関する加工技術およびその用途に関する問題を広い視野から考え、その解決策を適切に判断し、創意工夫する能力を身につける。	材料に関する知識や技術に関心を持ち、生活の改善・向上を目指し主体的な活動を通して、創造的、実践的態度を養う。
評価の方法	課題作品	アイデア 課題作品	授業態度 課題制作進度

3. 教科からのメッセージ

小さな文具品から家庭で使う日用品、大きな自動車に至るまで、およそ工場で生産される製品が生み出されるまでにはたくさんの材料をつかいます。テーマに沿って、まずたくさんアイデアを考え、いくつか絞ってその材料を使い、その中から最終のアイデアを決めるためにモデルを数点作り、最終決定をします。決定したモデルをもとに製品が作られます。なぜモデルが必要かと言うと、ペーパープランだけだと、材料の感触や使いやすさ、見た目の大きさなどがわからないからです。製品はすぐ機械でできるから機械操作ができれば誰でもできると思いがちですが、生産に至るまでには様々な材料を通して、アイ

デアからモデル作りという地道な手作業が必要なのです。社会や生活に役立つものづくりに興味を持って、取り組んでもらいたいと思います。

3年 デザイン材料 年間指導計画表

単位数（2単位） 教科書：デザイン材料

目 標	社会生活に適応した、より使いやすい製品のアイデアを考え、それらのモデルを制作します。誰もが使いやすく、色彩や形状が美しい製品開発を目指します。		
月	大 項 目	中 項 目	時数
4 5 6 7	立体制作（動物の置物） 材料：和紙	1. アイディア（試作） 2. 図面制作 3. 原型制作 4. 和紙貼り 5. 着彩 6. 完成	3 2
8 9 10 11 12 1	立体制作（モビール） 材料：木材	1. アイディア（試作） 2. 図面制作 3. 切削 4. 細部加工 5. 研磨・仕上げ 6. 完成	3 2
1 2	立体制作演習 材料：ケント紙	・型紙の折による制作	6